

第93回 JECTECセミナー開催のご案内

『化学物質規制の最新動向(その3)』

掲題の件、下記の通りご案内申し上げます。

2007年6月にREACH規制(化学物質の登録・評価・認可・制限に関する欧州規制)が施行されて以来、環境に及ぼす危険性から選定される高懸念物質(SVHC)/認可の必要な物質の候補は、日々追加され、2021年7月で210物質となりました。

また、欧州RoHS指令(RoHS2)により、2019年7月にフタル酸エステル類が4種類追加される事に伴い、EUに上市される電気電子機器の使用に制限される物質が6種類から10種類に変更となりました。

2021年2月には、制限物質として三酸化アンチモン以下9物質が候補に挙がっています。

そこで、その後の化学物質規制の現況の情報収集と今後の見通しに役立てていただきたく、この度『化学物質規制の最新動向(その3)』セミナーを企画いたしました。

当セミナーはZoomを利用したオンライン形式で行いますので、会場まで移動する必要がありません。お気軽にご参加いただけましたら幸いです。皆様のご参加をお待ち致しております。

記

1. 日時

2021年9月24日(金) 13:30~16:50 (受付開始 13:00~)

2. WEB会議ツール

Zoom

3. 受講料

【JECTEC会員】 7,700円(税込) 【JCMA会員】 11,000円(税込) 【非会員】 16,500円(税込)

※受講キャンセル・ご返金のお取扱いは、セミナー開催の2日前までとさせていただきます。ご了承ください。

4. 定員

定員:50名

5. 申込締切

9月16日(木) (※定員50名に達し次第、締切とさせていただきます。お早目にお申し込みください。)

6. 申込方法

本案内末尾の申込書にご記入の上、E-mail/FAX にて送信ください。

当センターHPの「研修・セミナー予定」ページにも申込書フォームを掲載しております。

7. 受講方法

研修日の数日前に受講確定者へZoomの招待メールを送信いたします。

*参加用URLへのアクセスは、お申込みされた方に限ります。(ひとり/1ID)

*招待メールやURLの第三者への転送はご遠慮ください。

8. お問い合わせ/お申込み先

一般社団法人 電線総合技術センター(JECTEC) 情報サービス部 倉田、児玉
TEL: 053-428-4688 FAX: 053-428-4690 E-mail: kodama@jectec.or.jp (児玉)

9. プログラム

時間	内容
13:00～13:25	Zoom入室受付
13:25～13:30	開会、挨拶
13:30～14:30 (質疑応答含む)	[題目] 米国、中国を含むRoHS、REACHの最新動向 [講師] 一般社団法人 東京環境経営研究所 理事長 松浦 徹也 氏 [要旨] EUの規制動向を受けつつ、中国REACHの改正施行、ロシアREACHの発効、TSCA PBT規制の発効、Prop65のShort Formの改正の動きやサウジアラビアRoHSの公布など変化が起きています。 このような変化への対応は、本質を知り、共通を探し、効率的な社内対応を検討しなくてはなりません。 改定内容をまとめ、変化の本質を解説します。
14:30～14:40	休憩
14:40～15:40 (質疑応答含む)	[題目] 難燃材料(樹脂、繊維等)の最近の規制動向 [講師] 一般社団法人 難燃材料研究会 会長 大越 雅之 氏 [要旨] 難燃材料(樹脂、繊維等)における各国規制やラベルは、安全性のみならず各国製品の戦略的貿易障壁構築という側面も垣間見ることができます。 その難燃剤規制の現状、及び対策をご紹介するとともに、難燃材料の将来を示しました。
15:40～15:50	休憩
15:50～16:50 (質疑応答含む)	[題目] 塩ビに関わる RoHS・REACH の最新動向 [講師] 塩ビ工業・環境協会 環境・広報部 部長 内田 陽一 氏 [要旨] RoHS指令では2019年7月より4種のフタル酸エステル類が規制物質として適用され、その他塩ビ製品にも用いられている三酸化二アンチモンなど難燃剤の規制が検討されています。REACHにおいてもSVHCの追加など、目が離せない状況が続いています。 今回は、欧州の最近の規制動向を踏まえながら、塩ビに関わる化学物質規制の現状と課題について考察します。
16:50～16:55	閉会

時間、講演内容について若干変更される場合があります。